

「ちば・ふるさとの学び」を活用するにあたって

構成と学習目標

序章 豊かなふるさとに生きる ————— (総論)

全体の学習目標 ふるさと「ちば」の良さを再認識・再発見し、郷土に自信と誇りを持ち、未来を切り拓(ひら)く力を身につけることができる。

第1章 生命(いのち)のにぎわいとつながり —— (生物多様性分野)

学習目標 里山・里海にはぐくまれた豊かな自然と環境問題の関連を学び、生物多様性とのかかわりを理解し、千葉県人として何をすべきかを考えることができる。

第2章 水に囲まれて生きる ————— (歴史・文化・伝統分野)

学習目標 ちばの風土と4万年に及ぶ人々の暮らしの中ではぐくまれた文化を学び、郷土に誇りを感じることができる。

第3章 ちばの豊かな恵み ————— (食文化・健康・食育分野)

学習目標 健康づくりの基本としての「食」を通して、ふるさとの恵みを理解し、食べる楽しさや健康について考えることができる。

第4章 ふるさとを守る自助・共助 ————— (防災・安全・安心分野)

学習目標 災害についての知識を学び、「自助・共助」の心を培い、安全・安心な地域づくりに貢献することができる。

第5章 自分らしい生き方を見つけるために —— (夢・仕事分野)

学習目標 千葉県の産業や働く意味について理解し、社会の一員としての自覚を持ち、自己の将来の夢や希望を持つことができる。

「郷土と文化の継承, より良い未来への伝承」を目指して

特長①

教科, 総合的な学習の時間, 特別活動等, 各学校の教育活動の実態に応じた柔軟な活用が可能

特長②

本文, 課題学習に対応した最新資料に触れることで, 発展的な学習展開も可能

特長③

様々な学習機会に対応できるようコンパクトな内容とビジュアルで分かりやすい紙面構成

特長④

指導資料の資料解説, 指導展開例などを活用することにより, 充実した指導が可能

各章の本文・課題学習・資料を通して、繰り返し「ちばらしさ」を学びます。そして、ふるさとが直面している課題と向き合いながら、自己の生き方を考え、「自分らしさ」を獲得していく新しい学びのスタイルが「ちば・ふるさとの学び」です。